

安川電機 (6506)

2014年度4-6月期業績概要

2014年3月21日～2014年6月20日

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

目次

1. 2014年度4-6月期連結決算

- ・ 2014年度4-6月期実績
- ・ 事業セグメント別売上高構成比（13年度4-6月期⇒14年度4-6月期）
- ・ 仕向先別売上高/売上高構成比（13年度4-6月期⇒14年度4-6月期）
- ・ 営業利益増減要因分析（13年度4-6月期⇒14年度4-6月期）

2. 2014年度上期連結決算見通し

- ・ 2014年度7-9月期の事業環境見通し
- ・ 2014年度上期見通し
- ・ 営業利益増減要因分析（13年度上期⇒14年度上期計画）
- ・ 2014年度4-6月期の取り組み

3. 参考資料

- ・ 設備投資、研究開発費、為替状況
- ・ B/S構造の推移
- ・ 連結売上高・営業利益推移
- ・ 四半期連結売上高推移
- ・ 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール:(M)

【主要製品】

- ・ACサーボモータ、コントローラ
- ・リニアサーボ
- ・インバータ
- ・パワーコンディショナ
- ・EV用モータドライブシステム など



ACサーボ



汎用インバータ



太陽光発電用
パワーコンディショナ



EV用モータドライブ
システム

ロボット:(R)

【主要製品】

- ・産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装ロボット
 - FPD搬送ロボット、新世代ロボット、ハンドリングロボット
- ・半導体製造装置用ロボット
- ・バイオメディカル用途向けロボット など



レーザー切断・溶接対応
高精度軌跡ロボット



バイオメディカル向け
双腕ロボット



パラレルリンクロボット

システムエンジニアリング:(S)

【主要製品】

- ・鉄鋼プラント用電機システム
- ・上下水道用電気システム
- ・大型風力発電機品 など



上下水道用電機システム



連続鋳造設備



大形風力発電用
発電機とコンバータ

その他

【主要製品】

- ・情報関連事業
- ・物流サービス など



ハイパワーレーザー対応スキャナヘッド



ワイヤレスM2Mサービス
(通信アダプタ)

1. 2014年度4-6月期連結決算

2014年度4-6月期実績(概要)

- 好調な主力事業が牽引し、売上・営業利益ともに増収増益

	<u>14年度</u>	13年度	<u>前年同期比</u>	
	<u>4-6月期</u>	4-6月期	増減額	増減率
売上高	<u>910億円</u>	855億円	<u>+55億円</u>	<u>+6.4%</u>
営業利益	<u>68億円</u>	64億円	<u>+4億円</u>	<u>+7.0%</u>
経常利益	<u>65億円</u>	66億円	<u>▲1億円</u>	<u>▲1.3%</u>
四半期純利益	<u>45億円</u>	34億円	<u>+11億円</u>	<u>+32.5%</u>

2014年度4-6月期実績(セグメント別)

・(M)(R)が増収増益

(単位: 億円、%)

	14/4-6月期		13/4-6月期		前年度比	
		利益率		利益率	増減額	増減率
売上高	910		855		+55	+6.4%
(M) モーションコントロール	435		418		+18	+4.2%
(R) ロボット	312		279		+33	+11.8%
(S) システムエンジニアリング	63		74		▲11	▲14.3%
その他	100		85		+15	+17.8%
営業利益	68	7.5%	64	7.4%	+4	+7.0%
(M) モーションコントロール	51	11.8%	45	10.8%	+6	+13.6%
(R) ロボット	26	8.4%	24	8.7%	+2	+7.0%
(S) システムエンジニアリング	▲7	-	▲1	-	▲5	-
その他	▲1	-	▲0	-	+0	-
消去または全社	▲2	-	▲3	-	+1	-
経常利益	65	7.2%	66	7.7%	▲1	▲1.3%
四半期純利益	45	4.9%	33	3.9%	+11	+32.5%

(注)セグメント数値については2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで記載

2014年度4-6月期実績(セグメント別)

(M)

- ・ ACサーボは、スマートフォン・タブレット向けが牽引し、国内外とも好調。
瀋陽工場の増産効果も寄与
- ・ 汎用インバータは堅調。
太陽光パワコンは好調だった前年同期に比べ低調

(R)

- ・ 中国を中心にグローバルで自動車向けが好調

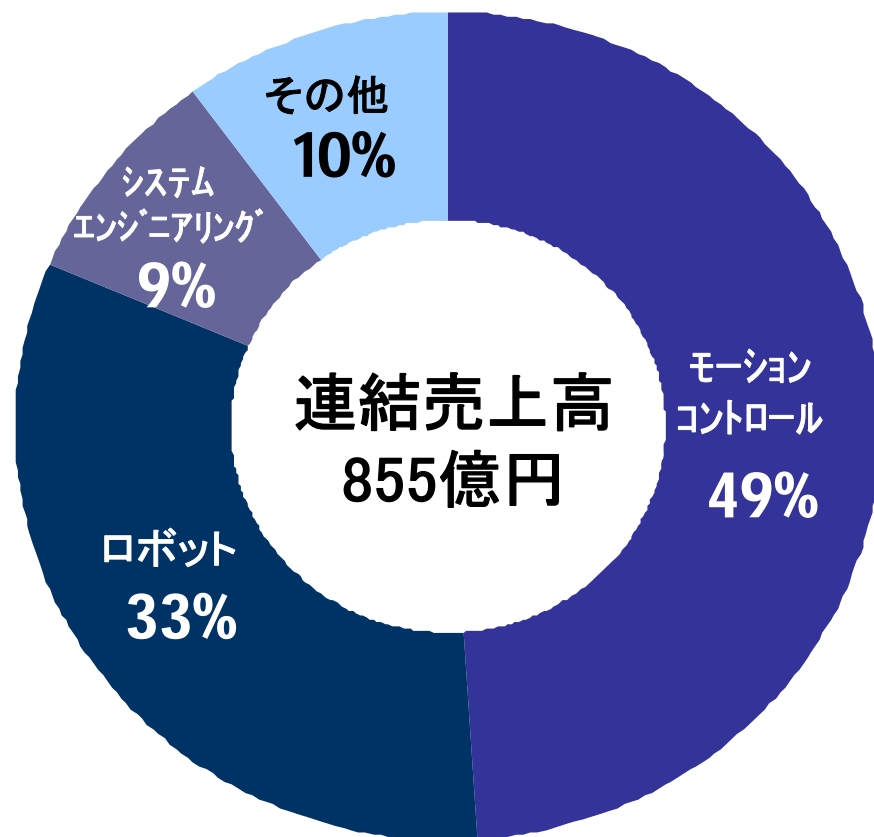
(S)

- ・ 主力の鉄鋼向けおよび水処理向けともに低調

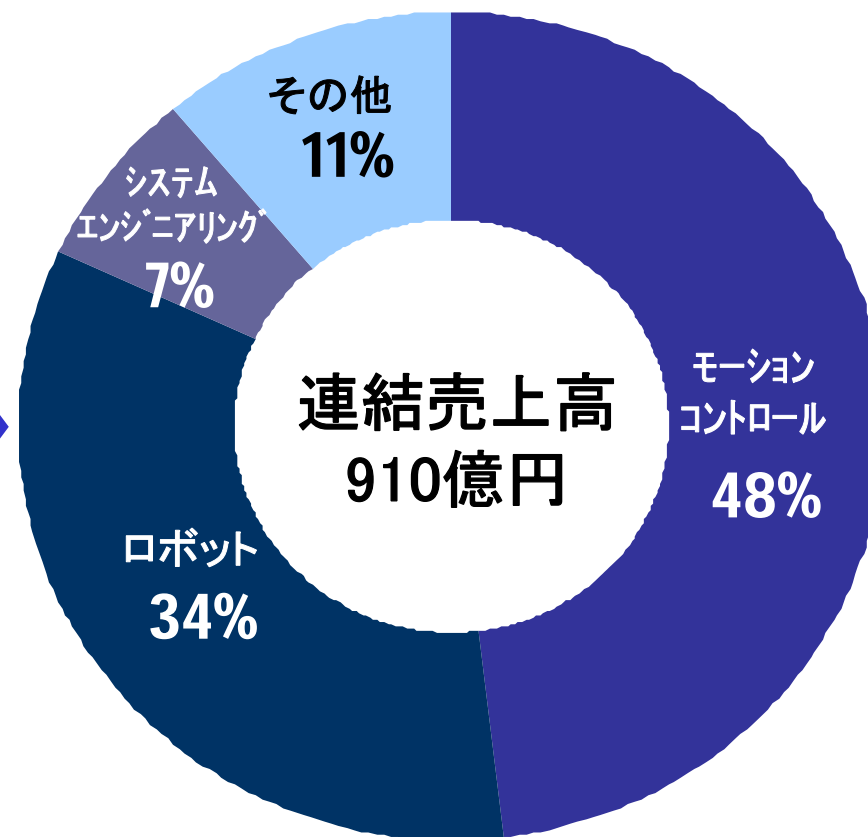
(注)表記:(M)=モーションコントロール (R)=ロボット (S)=システムエンジニアリング

・構成比に変化なし

13年度4-6月期



14年度4-6月期



仕向先別売上高(13年度4-6月期⇒14年度4-6月期)

・好調な中国が牽引し、海外売上高が伸張

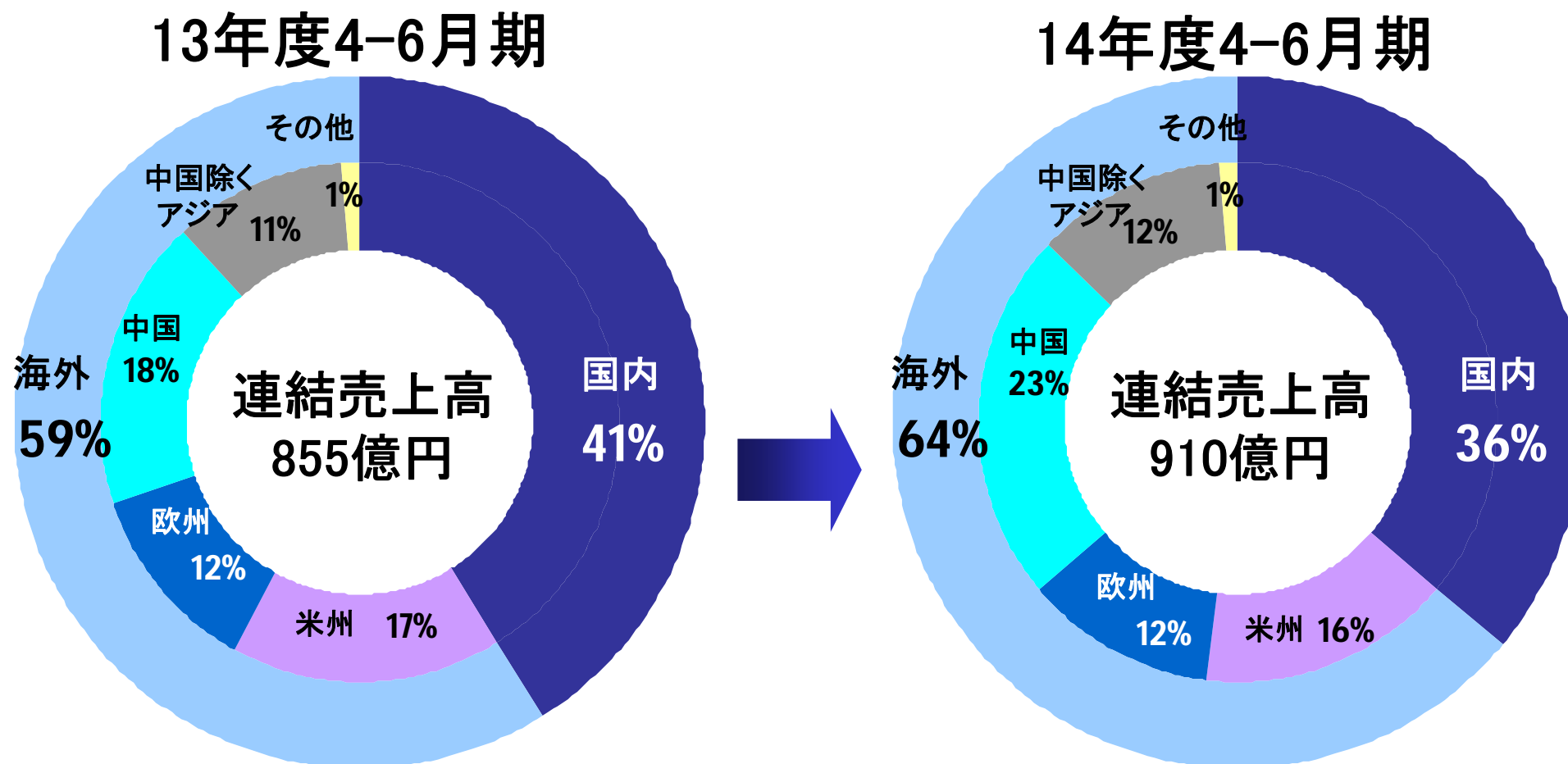
(単位:億円、%)

	14/ 4-6月期	13/ 4-6月期	前年比	
			増減額	増減率
売上高	910	855	+55	+6.4%
国内	330	347	▲17	▲5.0%
海外	581	508	+72	+14.2%
米州	147	146	+0	+0.1%
欧州	106	103	+3	+3.3%
中国	208	158	+50	+31.8%
その他アジア	112	93	+18	+19.4%

(注) 内訳には「その他地域(南アフリカ、オーストラリア等)」の記載は割愛しています。

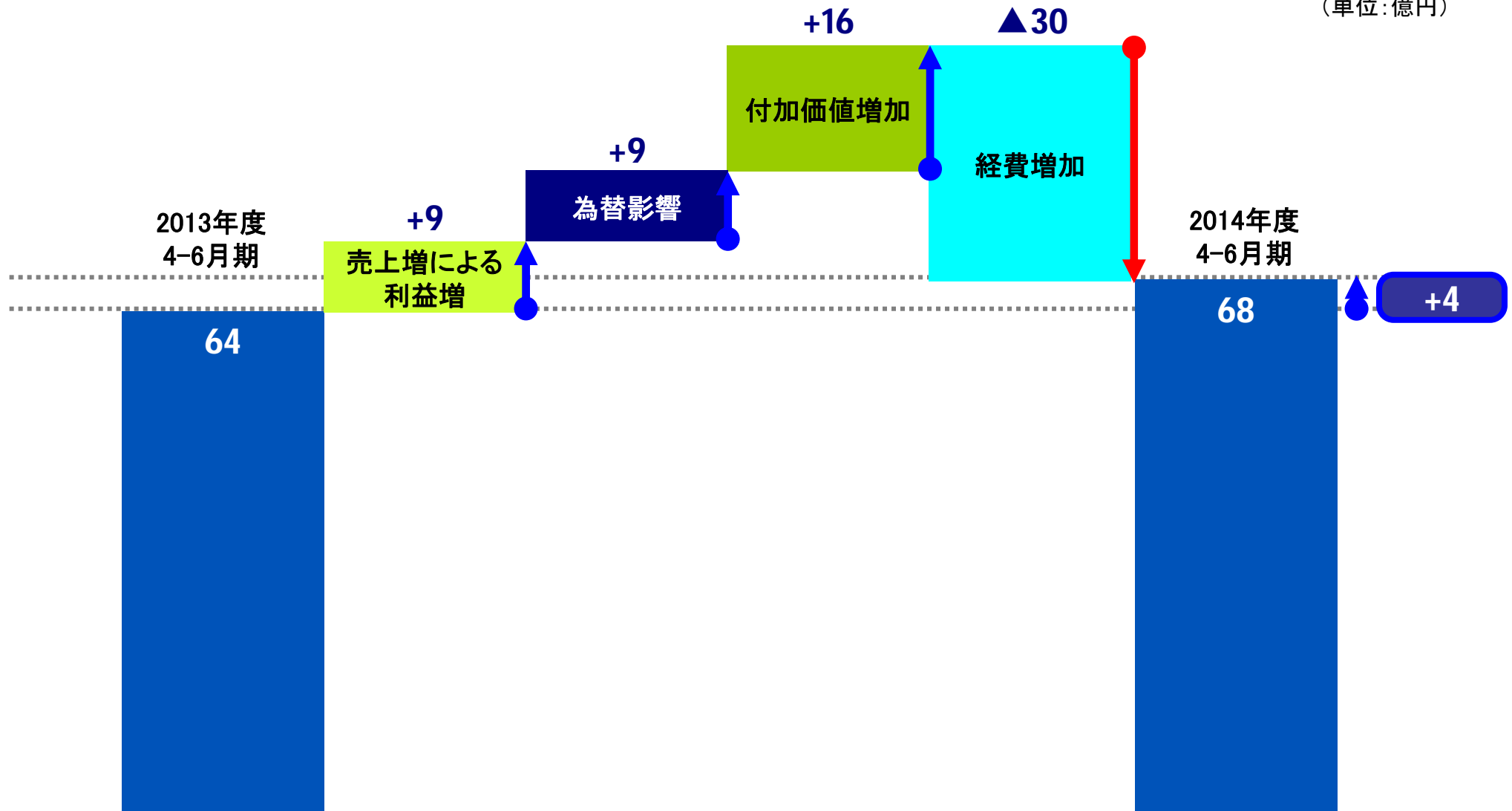
仕向先別売上高構成比(13年度4-6月期⇒14年度4-6月期)

・好調な中国の構成比が拡大



営業利益増減要因分析(13年度4-6月期⇒14年度4-6月期)

(単位: 億円)



2. 2014年度連結決算上期見通し

2014年度上期見通し(概要)

- ・好調な主力事業の受注動向を踏まえ、上期計画を上方修正
- ・通期予想は下期の需要動向が不透明なため据え置き

	<u>14/上期 今回予想</u>	14/上期 前回予想	予想比 増減額	13/上期	<u>前年同期比</u>	
					<u>増減額</u>	<u>増減率</u>
売上高	<u>1,900億円</u>	1,850億円	+50億円	1,772億円	<u>+128億円</u>	<u>+7.2%</u>
営業利益	<u>130億円</u>	110億円	+20億円	126億円	<u>+4億円</u>	<u>+2.9%</u>
経常利益	<u>130億円</u>	110億円	+20億円	134億円	<u>▲4億円</u>	<u>▲3.0%</u>
四半期純利益	<u>80億円</u>	65億円	+15億円	73億円	<u>+7億円</u>	<u>+10.3%</u>

(注) 14/上期 前回予想は、2014年4月21日時点発表の数値

2014年度上期見通し(セグメント別)

・(M)のACサーボが牽引し、売上・営業利益が増加

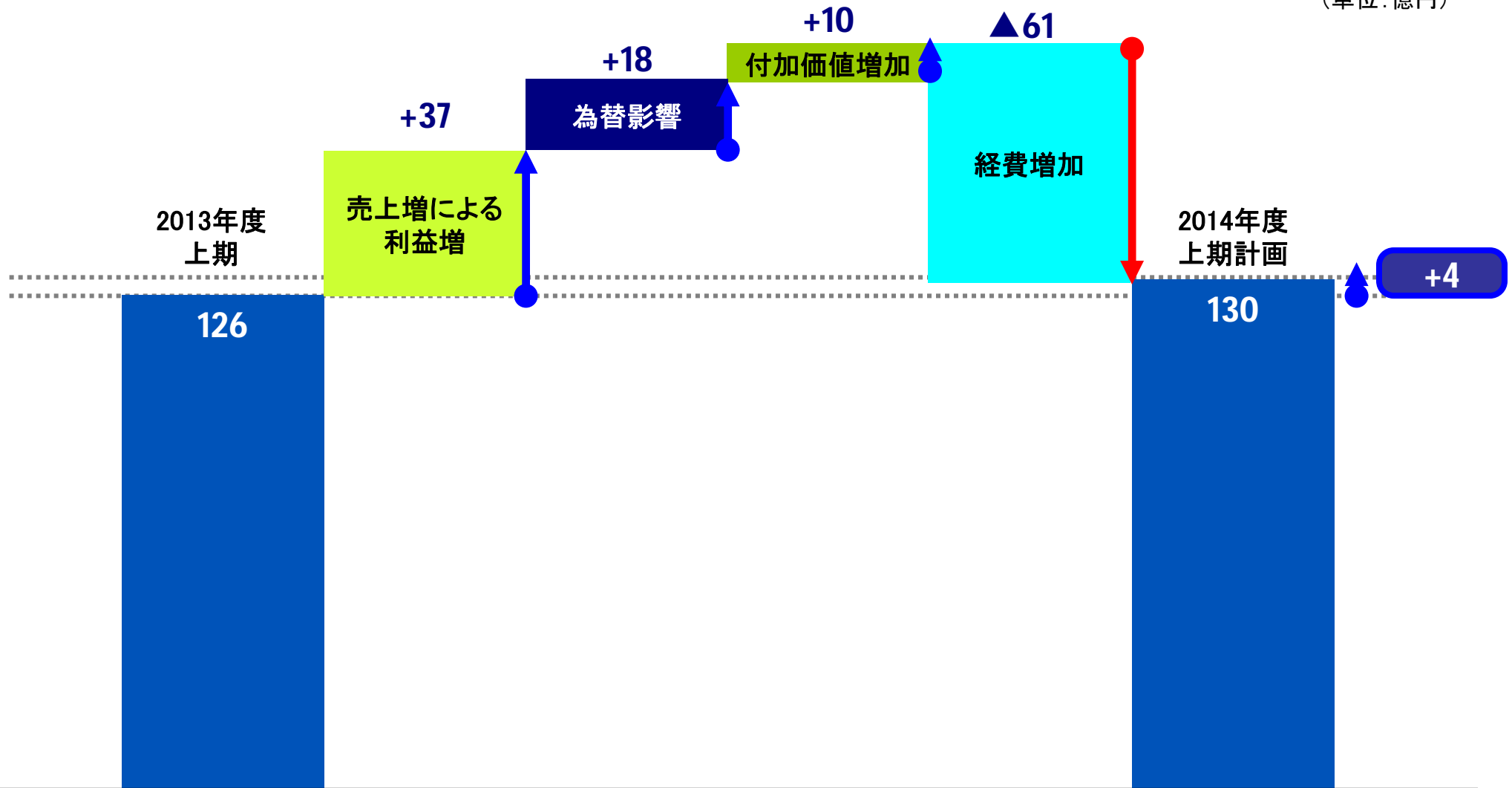
(単位:億円、%)

	14/上期		14/上期		前回 予想比 増減額	13/上期		前年同期比	
	今回予想	利益率	前回予想	利益率		実績	利益率	増減額	増減率
売上高	1,900		1,850		+50	1,772		+128	+7.2%
(M) モーションコントロール	895		860		+35	823		+72	+8.8%
(R) ロボット	650		655		▲5	586		+64	+10.8%
(S) システムエンジニアリング	150		140		+10	162		▲12	▲7.5%
その他	205		195		+10	200		+5	+2.4%
営業利益	130	6.8%	110	5.9%	+20	126	7.1%	+4	+2.9%
(M) モーションコントロール	98	10.9%	77	8.9%	+21	85	10.4%	+13	+14.9%
(R) ロボット	52	7.9%	53	8.1%	▲1	48	8.2%	+3	+6.7%
(S) システムエンジニアリング	▲13	-	▲13	-	-	▲4	-	▲9	-
その他	1	0.2%	1	0.3%	-	3	1.6%	▲3	▲84.3%
全社・消去	▲7	-	▲7	-	-	▲6	-	▲1	-
経常利益	130	6.8%	110	5.9%	+20	134	7.6%	▲4	▲3.0%
四半期純利益	80	4.2%	65	3.5%	+15	73	4.1%	+7	+10.3%

- (注) 1. 表内「14/上期前回予想」は、2013年4月21日発表時点の数値
 2. セグメント数値について、2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースにて記載

営業利益増減要因分析(13年度上期⇒14年度上期計画)

(単位:億円)



2014年度4-6月の取り組み状況

- The Switch Engineering Oy (フィンランド)の買収による風力発電用電機品の拡販
⇒ 双方の得意技術を融合し、風力・潮流発電をはじめ、船舶、その他産業へ事業領域を拡大
- Solectria Renewables, LLC (米国)の買収による米国太陽光発電市場への参入
⇒ 小容量から大容量までラインアップを強化し、顧客の多様なニーズに対応
⇒ 産業用インバータ技術の融合により、開発・生産・販売のシナジーを創出
- 子会社(安川情報システム)の資本業務提携(持分法適用会社化)
⇒ 安川情報システムが強みとするIoT/M2M事業をさらに強化・加速する



The Switch Engineering Oy(外観)



Solectria Renewables, LLC(外観)



Solectria Renewables,LLC(製品群)

3. 参考資料

設備投資、研究開発費、為替状況

◆設備投資の状況（連結）

	2012年度	2013年度	2014年度計画
設備投資額	158.9	169.8	280.0
減価償却費	81.1	92.2	110.0

◆研究開発投資の状況（連結）

	2012年度	2013年度	2014年度計画
研究開発投資	107.3	140.3	150.0

◆為替状況（連結）

	2012年度		2013年度		2014年度計画	
	1Q	上期	1Q	上期	1Q実績	上期想定
対 米ドル	81.3円	80.1円	97.9円	98.2円	102.2円	101.1円
対 ユーロ	106.1円	102.0円	127.1円	128.5円	141.0円	140.5円

(注)期中平均レート

B/S構造の推移

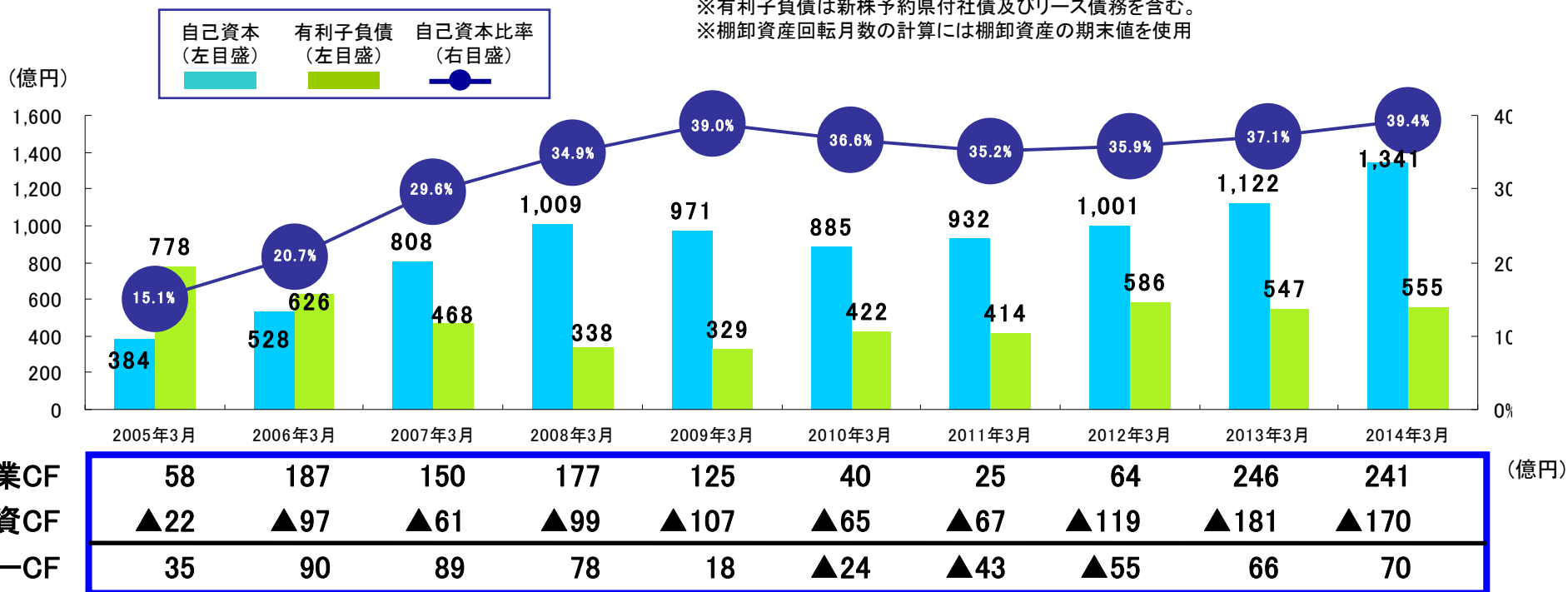
2014年3月20日時点

- 自己資本比率 39.4%
- 自己資本 1,341億円
- 有利子負債 555億円
- D/Eレシオ 0.41
(ネットD/Eレシオ) 0.24
- 棚卸資産 784億円
(回転月数) (2.6ヶ月)

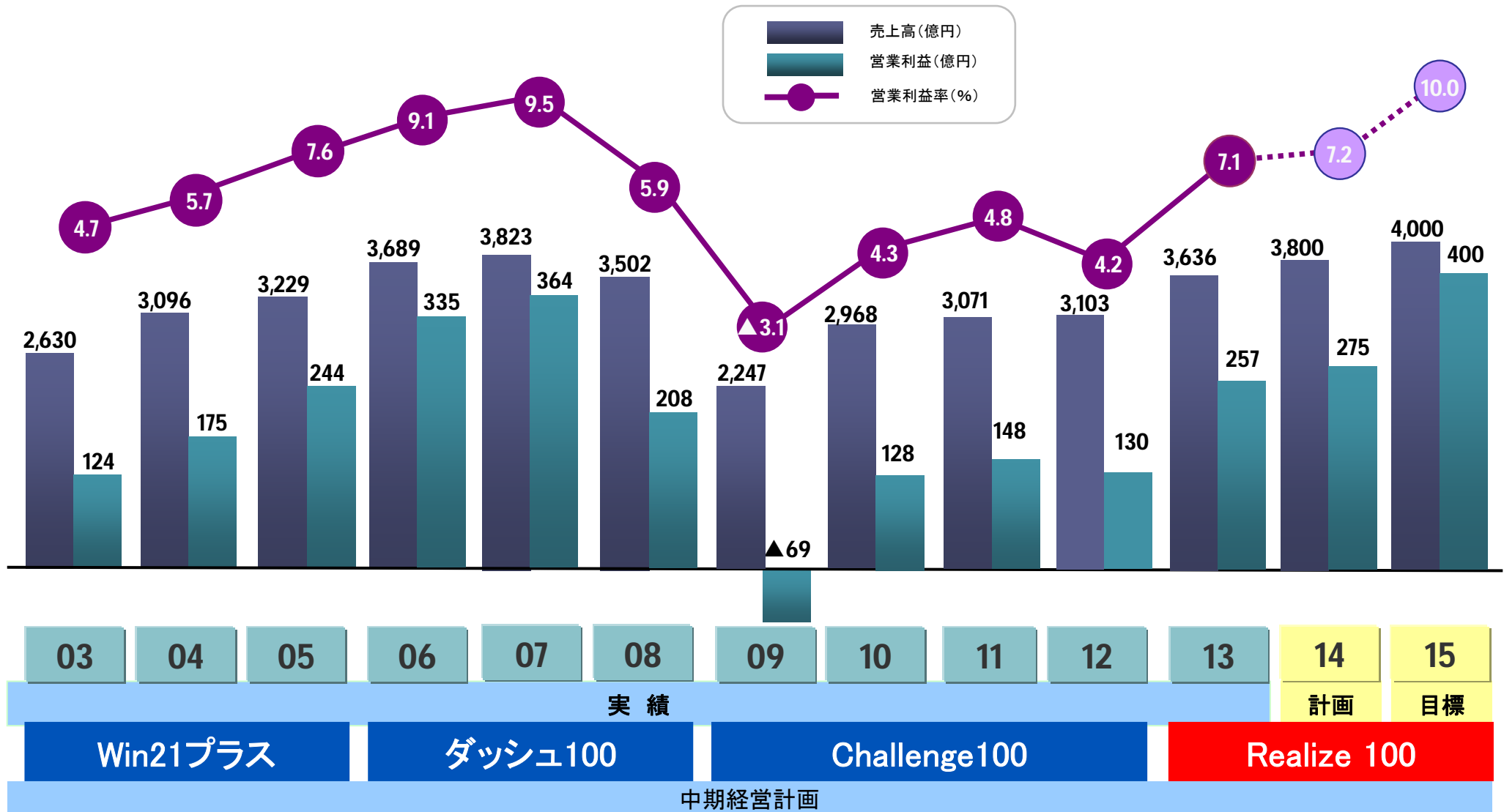
2014年6月20日時点

- 自己資本比率 40.7%
- 自己資本 1,375億円
- 有利子負債 546億円
- D/Eレシオ 0.40
(ネットD/Eレシオ) 0.25
- 棚卸資産 822億円
(回転月数) (2.7ヶ月)

※有利子負債は新株予約権付社債及びリース債務を含む。
※棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用

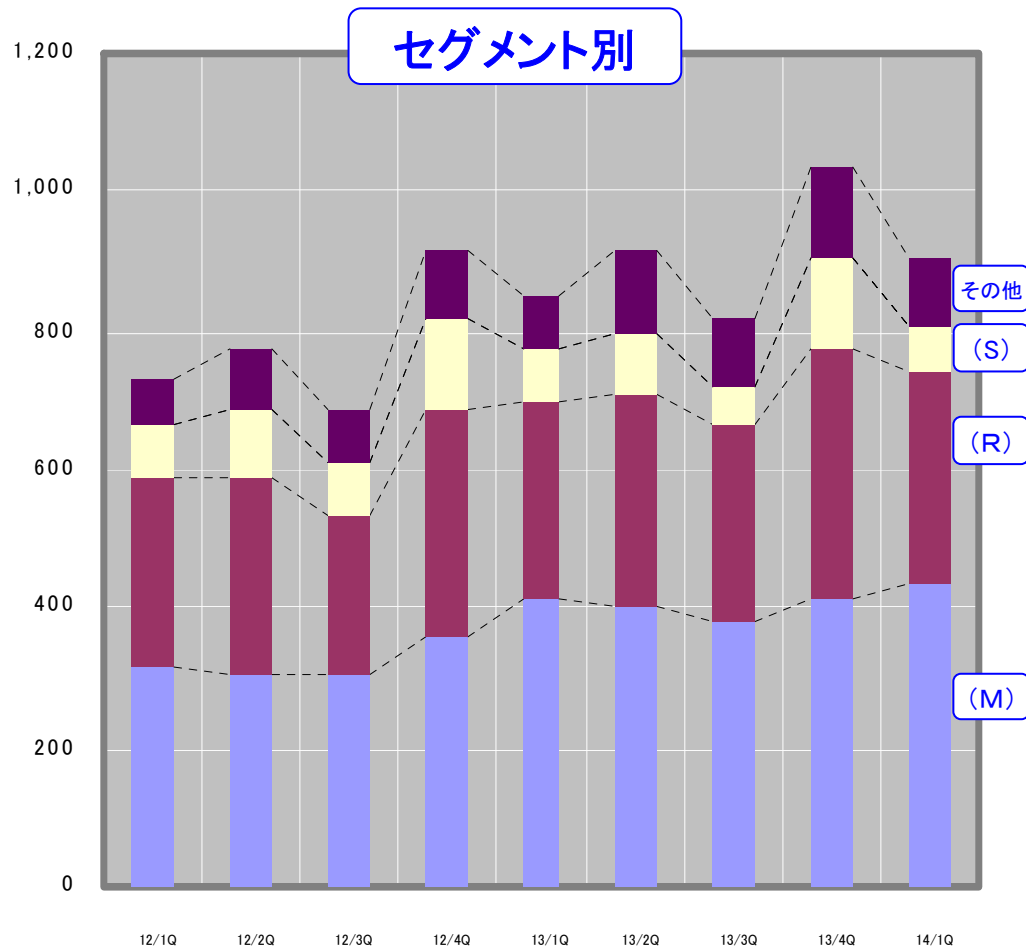


連結売上高・営業利益推移(2003年度～2015年度目標)

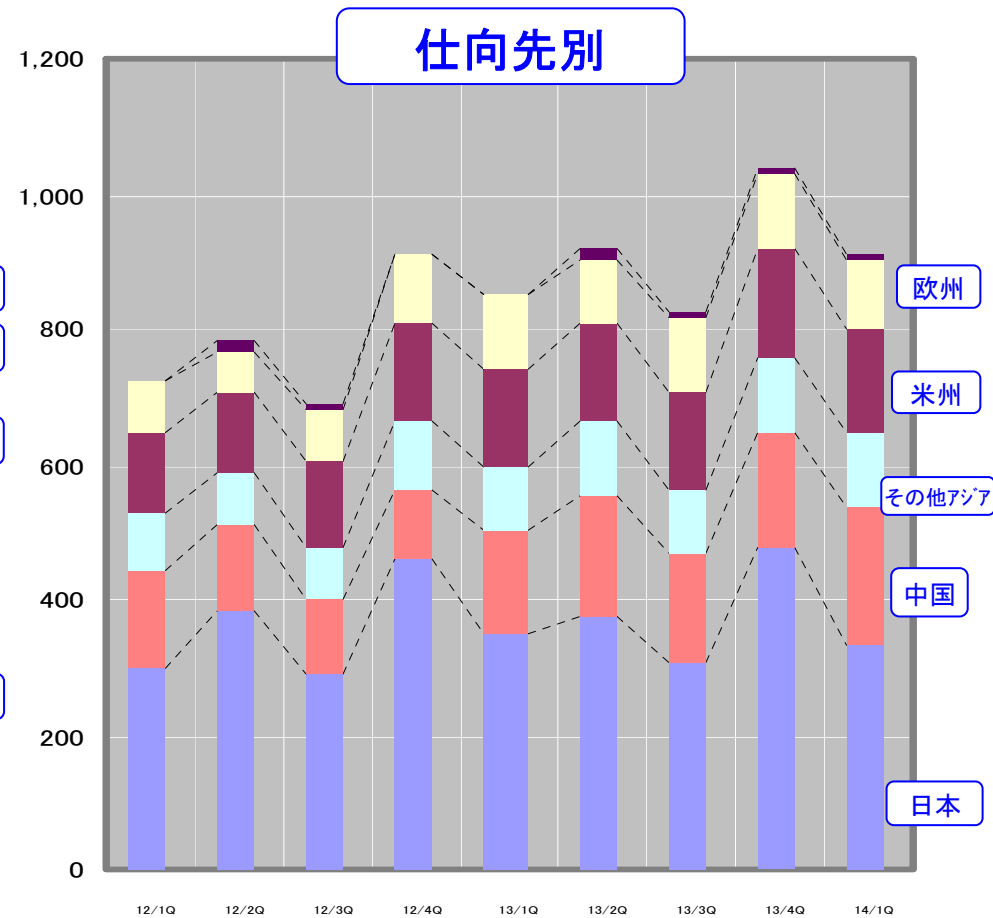


四半期連結売上高推移

(億円)

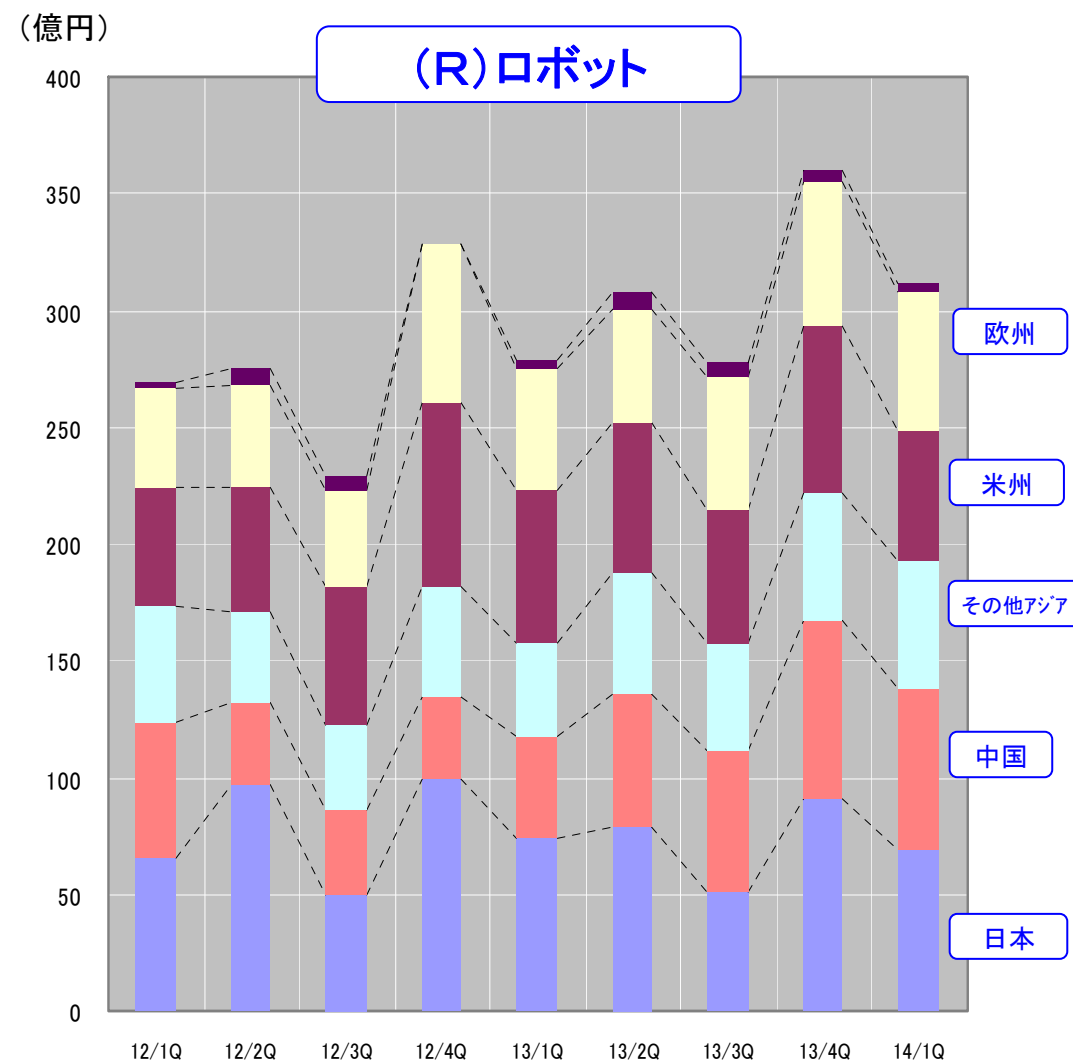
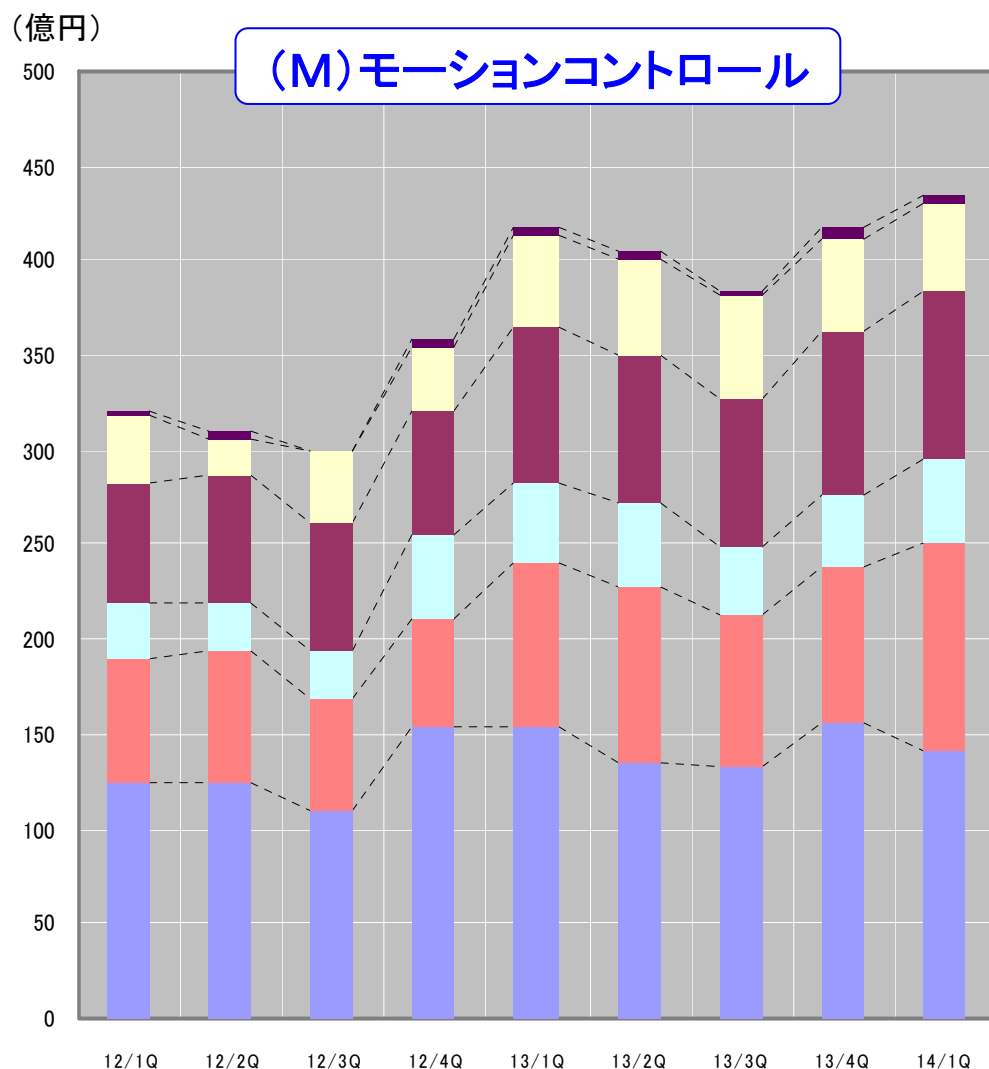


(億円)



- (注) 1. 表記: (M) = モーションコントロール (R) = ロボット (S) = システムエンジニアリング
 2. 2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで記載

四半期連結売上高推移



(注) 2013年7月18日発表のセグメント変更後のベースで記載

主要生産拠点



本資料に記載されている業績見通しは将来の予測であり、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な原因には当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。